

**専門職大学院コンソーシアム「レクチャーシリーズ」の開催について****概 要**

九州大学の4つの専門職大学院で組織する「専門職大学院コンソーシアム」では、一般市民を対象とした公開講座（レクチャーシリーズ）の第2回を、11月23日（木）に開催します。テーマは「身近に触れる知的財産権」。企業活動から日常生活のさまざまな場面までますます重要性が高まっている知的財産権について、ロースクールとビジネススクールの専門教員が、わかりやすく解説します。

**背 景**

九州大学の4つの専門職大学院（医療経営・管理学専攻、産業マネジメント専攻（ビジネススクール）、法科大学院、実践臨床心理学専攻）は、本年2月に「専門職大学院コンソーシアム」を組織し、学生の相互履修制度（4月より）、シンポジウムの開催（5月）など、さまざまな形で共同の教育・研究活動を行ってきました。その一環として、専門的な研究の成果を広く一般の方々に実感していただくために、市民公開講座「レクチャーシリーズ」を開催しています。

第1回は、8月26日（土）に「豊かに生きるためのストレスとのつきあい方」というテーマで開催し、好評をいただきました。今回はそれに続く第2回になります。

**内 容**

九州大学専門職大学院コンソーシアム レクチャーシリーズ第2回：「身近に触れる知的財産権」

企業活動から日常生活のさまざまな場面まで、ますます重要性が高まっている知的財産権。ロースクールとビジネススクールの専門教員が、一般の方々向けにわかりやすく解説します。

日時：11月23日（木）14：00～16：30

会場：九州大学医学部百年講堂中ホール

テーマ：「**身近に触れる知的財産権**」

講師：熊谷健一（法科大学院教授）

「日常生活と著作権」

高田 仁（産業マネジメント専攻助教授）

「新製品開発と特許権」

・定員 100 名、参加料 500 円（当日徴収）

・申込み先：医療経営・管理学講座（担当：立石） 電話 092-642-6960（FAX 6961）

E-mail : [sigezumi@hcam.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:sigezumi@hcam.med.kyushu-u.ac.jp)

・ホームページ： <http://www.hcam.med.kyushu-u.ac.jp/archives/2006/09/08-1146.html>

**今後の展開**

第3回は来年2月18日に「ケースメソッド教育」をテーマに開催する予定です。詳細は追ってお知らせします。

## 「日常生活と著作権」

(講師) 熊谷 健一 (法科大学院 教授)

小説、音楽、絵画等の芸術作品だけではなく、コンピュータ・プログラムやデータベースも著作権で保護されます。著作権は、複製技術の進歩、デジタル化の進展、ネットワーク社会の到来により、日常生活にも密接に関係するようになってきています。知らないうちに他人の著作権を侵害していたりしないように、著作権の保護と侵害防止策について、身近な例から検討しましょう。

## 「新製品開発と特許権」

(講師) 高田 仁 (産業マネジメント専攻 助教授)

身近に触れる製品には、様々な特許技術が使用されています。製品の優位性を確保するためには、製品開発過程での特許戦略の組み込みは欠かせないのです。身近な製品にどんな特許技術が利用されているのかを見ていくと、今まで見えなかった製品の新しい魅力が浮かび上がってくることもあります。世の中の新製品を特許の面から見てみましょう。

### 【用語解説】

- ・専門職大学院とは、従来型の研究者養成のための大学院とは異なり、社会の現場で活躍する高度専門職業人の育成を目的とする大学院です（平成 15 年文部科学省令 16 号を参照）。
- ・九州大学には、医学系学府医療経営・管理学専攻（2001 年設立）、経済学府産業マネジメント専攻（ビジネススクール、2003 年設立）、法務学府実務法学専攻（法科大学院、2004 年設立）、人間環境学府実践臨床心理学専攻（2005 年設立）という 4 つの専門職大学院があります。
- ・九州大学専門職大学院コンソーシアムについては、本年 2 月 17 日付のニュースリリースをご覧ください。 <http://www.kyushu-u.ac.jp/news/release/2006-02-17-01.pdf>

### 【本件に関するお問い合わせ】

法学研究院教授 中窪裕也

電話：092-642-3184

Mail：nakakubo@law.kyushu-u.ac.jp